

館 木タル  
元飼育責任者、提訴へ  
板橋区に処分取り消し求め

板橋区ホテル生環境館(同区高島平)の飼育責任者だった阿部宣男さん(58)が3月28日付で懲戒免職処分となった問題で、阿部さんは3日、弁護士を伴って都内で会見し、処分理由は「事実に基づかないとして、区を相手取り、処分取り消しを求めて東京地裁へ提訴すると述べた。

区は処分理由に、ホテル飼育に有用なハチの飼育や売買契約を無断で結んで、特定の営利企業に便宜供与したとしたが、阿部さんは「上司に報告していた。営利企業ではなくボランティアで、ハチが増えたことは区も知っていた」と説明。区が認識していた証拠として、ハチ養殖に取り組む石川県の自治体が板橋区長に宛てた技術支援を求める公

文書を公開した。

区が、阿部さんは各種決済文書を残していないと指摘していることについては、「飼育に没頭していた。ひたすらホテルの世代交代と生態系の維持に尽くした」と釈明した。

同席した渡辺彰悟弁護士は「文書の不備は懲戒免職の理由といえない。処分は、全国初のホテル25累代飼育に成功し、毎夏、人々に楽しみを提供した功績とかけ離れている」と処分の不当性を訴えた。

区は1月27日に阿部さんに連絡せず環境館の生態調査を実施。ホテルは2匹しか見つからなかったと公表しているが、会見でこの調査時の録画を上映。渡辺弁護士は「無数の幼虫が冬眠する水路に踏み入り、採取

した生体を真空パックに入れ、幼虫がいる泥を下水に流す調査は専門性がみられない」と調査手法にも疑問を呈した。阿部さんは「幼虫は7万〜10万匹いたはずで、調査で約5千匹に減った」と推定している。

板橋区人事課は3日、「懲戒免職処分については、確証があるもので適正に判断した結果だ」とコメントした。